

令和4年度(2022年度)熊本市児童館運営審議会 議事録(書面開催)

令和4年度(2022年度)熊本市児童館運営審議会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて開催した。令和4年(2022年)9月1日審議会資料を発送するとともに意見を求め、委員全員からの提出された意見や質問に対し回答を記載したものを。

【照会事項】

- (1) 令和3年度(2021年度)の事業報告について
- (2) 令和4年度(2022年度)の事業計画について
- (3) その他のご意見

【資料】

- ・令和4年度(2022年度)熊本市児童館運営審議会資料
- ・(別冊1)令和3年度(2021年度)児童館活動報告
- ・(別冊2)令和4年度(2022年度)熊本市児童館利用者アンケート報告書
- ・(参考1)指定管理及び民間児童館運営状況
- ・(参考2)児童館だより(令和4年(2022年)8月号)

報告(1) 令和3年度(2021年度)の事業報告について

意見照会事項

【参照資料】「熊本市児童館運営審議会資料」の4・5(P4~P24)及び別冊資料I

新型コロナウイルス感染症に関する児童館活動について・児童館の備品(遊具)購入について・児童館の利用状況・児童館年間行事・児童クラブの活動・職員研修及び情報交換・広報等、令和3年度(2021年度)の事業報告に関し、ご意見をお願いいたします。

報告(1)に対するご意見

・どの児童館も、限られた条件の中で工夫されていたと思います。今後の活動内容の充実に向けて、子育て世帯の悩みや要望、小学生の希望などもアンケートで聴いてみてはいかがかなと思いました。

コロナ禍において、人とのかかわりや体を動かして遊ぶ機会も減少しているように思います。

(事務局回答)

子育て世帯の悩みや要望、小学生の希望については、利用者アンケートの設問に組み込んでまいります。

・感染防止対策等、安全な管理運営に努力いただき、児童館職員の方々にはお礼を申し上げます。子どもと保護者と地域をより一層支えていただけますようお願いいたします。

令和3年度は前年度と比べて行事も増え、徐々にポストコロナに向けた体制が整いつつあるということがよく分かりました。しかし、一方で年間利用者数が前年度より13.9ポイント減となっているのは、入れ替え制や人数制限によるものなのか、単純な利用者減なのか資料より読み取ることができなかったため、この点についての状況をお知らせいただけますようお願いいたします。

(事務局回答)

令和3年度は、行事等につきましても感染対策のため人数制限等を行いながらも、可能な範囲で実施したところでございます。年間利用者数の減少につきましては、感染拡大に伴う臨時休館期間が長かった事が影響していると考えます。

・備品購入について、森林環境譲与税について詳しくは知りませんが、おそらく有効な良い活用方法であれば利用することは宜しいと思います。遊具については「幼児が遊べるおもちゃを増やしてほしい」との意見がアンケートに記されています。

・児童館の利用状況について、4、5年前に比べると約6.2%になり、かなり減少しています。ただ、昨年に比べて少々減少はしているけれども増えている児童館もあり、1日当たりの利用者は増えているようです。しかし、ここ2年は5~3年前に比べかなり少なく、一般利用者も減少しています。保護者と幼児の利用率が高く、小学生も低学年の利用が多いようです。西部児童館では、小学生の登録率は2.6%で、利用者の数が10%程というデータを見ると、少ないという結果になります。コロナ禍の中で、半年は休館という状況では、子育て家庭の心労も大きいと思います。

- ・児童館年間行事について、多くの行事が行われている。コロナ禍の中で、令和 3 年度は中止となった行事が多いけれども、令和 4 年度も多くの行事活動が計画され、良い事と思います。
- ・児童クラブの活動について、令和 3 年度はコロナ禍の中で中止したクラブが多いのは仕方ない。

・職員研修及び情報交換について、職員研修は「資質向上」「活動の充実」に重要であると考えます。コロナ禍の影響で中止は仕方ないとして、良く計画予定されていると思います。

・広報等について、各児童館で広報誌発行、ホームページ、チラシ、ポスターの作成など、十分に行われていると思います。

・利用状況は、幼児よりも小学生の利用が少ない。小学生も、学年が上がるにつれて利用が少なくなっている。もう少し小学生の利用が増えないだろうか。

広報に関して、各児童館で配布先にばらつきがあるように感じる。

(事務局回答)

広報については、各児童館で地域の実情に合った配布先や広報の手法を工夫しながら実施しています。小学生の利用についても、広報手段を見直し、工夫することでより一層の周知を図り、利用促進に努めてまいります。

・新型コロナウイルス感染対策がきちんとなされていて、利用者の方も安心されていると思います。

・備品購入について、県産木材を使用した遊具がとても魅力的です。「木のぬくもり」を大切にされているのだと思いました。

・児童館の利用状況について、事業別利用者数について、児童館ごとに事業別利用者が計上されています。コロナ禍であり止むを得ないとはいえ実績ゼロの事業があり残念です。

・年代別利用状況及び学年別利用状況について、「児童館ガイドライン(厚生労働省子ども家庭局長)」では、児童館は18歳未満のすべての子どもを対象とするとしているが、齟齬を来していませんか。

(事務局回答)

現在の熊本市児童館施設の状況では、中高生を対象として受け入れる部屋やスペースの確保が困難な状況です。しかしながら、ご指摘のとおり「児童館ガイドライン(厚生労働省子ども家庭局長)」では、「児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域に遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設である」とありますとおり、児童館の施設特性(拠点性、多機能性、地域性)を活かし充実させていくことが求められています。

本市においては令和5年度に、子どもに関する施策を総合的に推進する「こども局」を設置します。その政策の中で、地域でのこどもの居場所となる拠点づくりが必要と考え、整備を進めていく予定です。児童館施設での中高生の受け入れも、その枠組みの中で検討していきたいと思っております。

・小学生の校區別登録及び利用者数について、全校区に亘ってみると、登録者数ゼロが2校区みられません。ご尽力願います。

(事務局回答)

広報手段を見直し、工夫することでより一層の周知を図り、利用促進に努めてまいります。

・新型コロナウイルス感染症に関する児童館活動については、令和3年度は183日が休館となり、182日しか開館されなかったのは残念ではあるが、安全面を考慮した対応だったと思われまます。開館された182日については、施設の衛生管理特に換気、消毒の実施、備品の衛生管理等に配慮された様子がかがえしました。ご苦勞様でした。

・児童館の遊具の購入については、木材を使った暖かい手触りの素敵な遊具や備品は児童館の環境づくりにも一役買う素晴らしいものと思っております。

・利用状況やクラブ(児童)の活動等はコロナ禍の中での状況と思われる。

・職員研修及び情報交換については、書面開催を含めしっかりと行われている様子がかがえまます。

・児童館の広報については、ホームページでのお知らせや、回覧板他チラシ・ポスターで工夫をされているようです。コロナ禍の中でいろいろと工夫され、ご苦労されている様子がうかがえます。

・令和3年度は、児童館の休館や子どもの新型コロナ感染が増えたにもかかわらず、前年度より利用者数が増えている月もある。児童館が感染予防対策をしっかりと施されたこと、保護者が児童館を「安全に過ごせる場」として認識していることがうかがえます。

・遊具購入について、木のぬくもりを感じるので、とても良いと思いました。

おむつ交換台（花園児童館）は、写真では廊下に設置しているようですが、他に置き場所はないのでしょうか。今は男性も女性もおむつ交換できるような場所に設置した方が良いとは思いますが、何かカーテンのようなもので囲っても良いのではないかと思います。

（児童館回答）

廊下に面している図書室を活用し、授乳やおむつ交換ができるようにします。入口ドアに「使用中」などの表示をし、利用者が利用しやすい環境を整えます。

・利用状況についても、昨年よりは増えてきているようですが、児童館に関しての情報がかなり少なく、子どもたちへの児童館登録などの周知が難しいような気がします。地域によって児童館へ行かないと情報が入ってこないなど、改善はないのでしょうか。

（事務局回答）

情報提供については、紙媒体に加え公民館やまちづくりの職員と連携し、ホームページや SNS を活用することで、少しでも興味をもっていただけるよう工夫しながら広報の手段を広げています。児童館においても、スタッフが対応して情報発信に努めている状況です。

【SNS 活用例】

- ・託麻児童館 毎月、児童館だよりを市の公式LINEで管内6校区に配信。
- ・秋津児童館 東区の Facebook やInstagramに活動（行事・クリスマス）の様子を掲載。
- ・花園児童館 西区 Facebook にミニミニ運動会やハッピークリスマス会など、主な行事を掲載。
- ・南部児童館 市の公式 LINE で「広報みなみ」による児童館の情報提供を行っている。
- ・清水児童館 北区の Facebook へ母親クラブの活動の様子の掲載や、北区ホームページの清水地域電子回覧板へ児童館だよりを掲載。

・前年度に比べ、休館日の日数が多かったにもかかわらず、子どもたちの利用は大幅に伸びており、各児童館の広報活動などの努力によるもので評価できます。一方で、地域組織活動や一般利用が落ち込んでしまい残念ですが、利用者が新型コロナウイルス感染を警戒しての行動であると考えられるので、やむを得ないことと考えます。今後も、これまで同様の感染予防対策を続けながらの受け入れ態勢整備を進めてもらいたいです。

・備品遊具の購入は理解できるが、どの児童館に配備されたのかがよくわからない。

(事務局回答)

運営審議会資料 P7「児童館の備品(遊具)購入について」へ追記いたしました。

【購入例】

子ども用ベンチ(幸田児童館)

遊具整理戸棚(南部児童館)

おむつ交換台(花園児童館)

折りたたみテーブル(託麻児童館)

キッチン(南部児童館)

踏み台兼ベンチ(南部児童館、龍田児童館)

クッキングセット、冷蔵庫(南部児童館)

ままごとちゃぶ台(龍田児童館)

・児童館の諸活動に多少の差がある状況が見受けられ、残念な印象を受けた。競争はいらないが工夫がほしい。

(事務局回答)

各児童館の事業については、前年度までの活動・講座への参加実績や来館者からの要望等を踏まえた上で、年間計画を見直し、次年度に反映させながら活動・講座の工夫に努めているところですが、各児童館ごとに独自の地域とのつながりがあり、これまでの継続性を重視することで各館に特徴的な行事や活動となって表れていると考えます。

今後も、児童館担当者会議や実務活性化会議等で、他館の取り組みについて具体的に情報共有・交換しながら、新たな活動・講座を取り入れていくよう努めていくとともに、公民館やまちづくりセンターからも情報を取り入れ、魅力ある企画になるよう工夫しながら事業を実施してまいります。

・広報について、各児童館で広報の方法に違いがあるが、違う理由はどのようなことでしょうか。

(事務局回答)

各児童館で広報手段を検討しているため、方法に違いがありますが、今後も、各地域に最も効果的な周知の手法を採用しながら広報に力を入れてまいります。

・森林環境譲与税というものを知る機会になりました。

・小学校でもクラスターが発生して大変な状況ということもありますが、児童館の利用者の数が少ないのが気になります。

(事務局回答)

安全な遊びの場として選ばれるよう、感染対策を施しながら事業を実施することで利用者の回復を図ります。

・備品購入では、木材が生かされ、大変いいと思います。子どもたちにもっと木のぬくもりを感じていただけたらと思います。

・新型コロナ感染症に関する社会における見解や対応の変化がみられるようになったが、完全に感染者数を抑え込める状況にはなく、運営は簡単ではなかったと思います。実際に、利用者数や利用率をみると、新型コロナ感染症の流行以前の状況に戻るにはほど遠く、まだまだ不安を感じたり利用(参加)への抵抗感を持っている人が少なくないのではないか。そのような中、社会の感染状況をみながら、公共性公平性を担保し市民のニーズに応え、できるだけ活動や行事を実施したことは評価できると思います。

また、予約制を導入したり、持ち帰りの工作キットの準備、保護者の要望や意見を反映した児童館もあり、工夫がうかがえました。しかしながら、同時期でも実施した館と中止した館の判断の違いを検証していただきたい。

(事務局回答)

コロナ禍における事業実施の判断につきましては、3密などの感染対策がとれる状況であれば実施可能としております。各児童館で企画する活動の内容や、施設の状況に違いがあるため判断の違いが生じたものです。

・広報については、紙媒体とネット媒体の両方があると思うが、実際の利用者がどこからの情報で来館しているのかアンケートをとると、広報のあり方の参考になるのではないかと。(内容についても、どんな情報が知りたいか。どんな記事に目が止まるか等)

(事務局回答)

広報については、利用者アンケートの設問に、情報の入手ルートや知りたい内容を組み込むこととし、広報のあり方を検討する際に役立ててまいります。

・備品購入は、県産木材使用の温かみのあるものでどれも良いと思う。どの児童館に何が導入されたのかの報告があるとよかった。

(事務局回答)

運営審議会資料 P7「児童館の備品(遊具)購入について」へ追記いたしました。

報告(2) 令和4年度(2022年度)の事業計画について
意見照会事項
【参照資料】「熊本市児童館運営審議会資料」の4~6(P4・P15~P24)
令和4年度(2022年度)の児童館年間行事・児童クラブの活動・職員研修及び情報交換・広報等に関して、ご意見をお願いいたします。
報告(2)に対するご意見
<p>・職員研修の内容についても、今後さらなるご検討をいただきたいと思います。</p> <p>・審議会資料 PP.15-19 を見ると、7月1日時点において中止行事が前年度と比較しても減っており、ずいぶん頑張られていると思われます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響がこの後あったと考えられますが、如何でしょうか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大(第7波)の影響で中止した行事は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西原公園児童館 セタまつり、ハロウィンパーティー、クリスマス会 ・託麻児童館 運動会、クッキーづくり ・秋津児童館 夏祭り ・東部児童館 中止した行事はありません。 ・西部児童館 地域組織活動 運動会(会場が新型コロナワクチン接種会場となったため) ・花園児童館 中止した行事はありません。 ・幸田児童館 中止した行事はありません。 ・南部児童館 運動会 ・清水児童館 中止した行事はありません。 ・龍田児童館 救急法(消防署の対応が困難となったため) <p>・年間の事業計画(行事)について、いくつかの児童館では昨年度のプログラムを「移行」して令和4年度に計画されているようです。これは「移行」させたという理解でよろしいでしょうか。または、毎年度のルーティンでしょうか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>年間計画を作成するうえで、季節の行事や定例となっているものの多くは毎年度のルーティンですが、昨年度実施できなかったものについて、今年度も計画したプログラムもあります。</p> <p>・職員研修について、初任者研修が書面開催となっているようですが、zoom等を利用した研修は考えられていないのでしょうか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>事前に、オンライン研修にも対応できる実施計画を行うことで実施可能です。次回は実施計画の段階から、オンライン研修も視野に実施してまいります。</p>

・事業別利用者数の児童館年間行事について、令和 3 年度は前年に比べ、児童館利用者は 369.9%の実績であり、朝の活動や児童クラブも比率は増えている。コロナ以前にはまだまだ少ないが、各児童館において様々な計画がされており、令和 4 年度は感染防止対策を図りながらの取り組みをし、更なる行事の遂行を期待します。

・児童クラブの活動について、児童館行事同様、児童クラブの活動も活性化されると思われます。

・職員研修及び情報交換について、コロナ対策を徹底し、短い時間での研修、屋外での実施など、出来得るところでの実施を行ってほしい。

・広報等について、この資料を見る限りでは、多くの広報活動をされていると思う。

・令和 3 年度は、各児童館ほとんどの行事が中止となっています。子どもたちにとっても、辛い一年だったと思います。令和 4 年度の行事計画に関しては、季節にそった行事が考えられていいと思います。

・職員の皆さんの努力と工夫がとても素晴らしいです。運営において様々な困り感もあると思います。それら乗り越えてこれからも頑張ってください。

・児童館年間行事について、コロナ禍による担当職員の方々のご苦労は大変なことと存じます。今年度もあと半年となりましたが、コロナ禍終息後は直ちに児童館活動をお願いします。地域組織活動については、抽象的記述がみられます。西原公園、託麻、秋津、花園、幸田の児童館においては、具体的に説明願います。

(西原公園児童館回答)

・地域活動組織については、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で夏祭り等のイベントや交流活動が開催できない状況では組織の活動ができず、発足の機運が高まらないため、組織の形成ができていませんが、収束後に組織活動づくりがスムーズにできるよう、情報提供や広報等を通じて児童館と地域の利用者とのネットワークを着実に醸成していきます。

(託麻児童館回答)

・地域活動組織については、前年度から児童館利用者等へのお声掛けや、ポスターの掲示やチラシを作成するなどの会員募集を行っているものの、令和 2 年度以降は会員が集まらず発足に至っていない状況です。今後は、来館者との窓口での対話を一層積極的に行うことにより、子育て支援の大きな力となる地域との連携の必要性を意識したイベントを開催、あるいは参加することにより、地域組織活動の契機にしたいと考えています。

(秋津児童館回答)

・地域組織活動につきましては、例年、母親クラブの参加希望者が集まらないため地域の民生委員・児童委員の方々が子育て支援サークルとして活動を行われておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でほとんど活動が出来なかったこともあり、令和 4 年度は活動を中止されました。

今後は、子育て座談会などの活動を企画し、母親同士のつながりが深まっていくような土壌作りから始めて地域組織活動を推進していきます。

(花園児童館回答)

・今後の新型コロナウイルス感染状況を見ながら、感染対策を十分に行い、しばらく実施できていなかった母親クラブを再開できるように準備を進めます。かつての賑わいを取り戻せるように、マザーズフェスティバルや子育て研修会などを開催し、地域組織活動を推進します。

(幸田児童館回答)

・利用者が集まって話す場が無くなったため、おしゃべりルームとして気軽に話す場を設け、会員募集の声かけを行い再開できる準備を進めています。ポスターの掲示等は引き続き行い、地域組織活動を推進します。

・児童クラブの活動について、申込方法は、窓口、はがき、電話、電子、HP または二次元コード等種々あるようですが、市民の方々とコミュニケーションを大切にする為にも窓口受付を必須条件にすべきかと思えます。一考願います。

・令和 4 年度は、児童館行事、クラブ活動とも、コロナにしっかりと対応しながら、前年度できなかった活動が少しでも多くできることを願っています。

・引き続き、職員研修等でレベルアップを図り、情報交換や広報活動を充実させてください。

・南部児童館「キャラクターさがし」のように、コロナ禍でも人との距離を保ちながら活動できる内容に工夫して事業を実施しているところもあるようです。「例年通り」ではなく、コロナを機に思いきって事業の活動内容自体を刷新することも、児童館利用を増やす一つの策だと思います。

・年間行事など色々な活動があるようですが、低学年向けが多いようです。親子参加型が増えたらいいと思います。

・児童館行事に関して、学校などを通して、もっとアピールできないのかと思います。常に児童館に足を運ぶわけではないので、情報が流れてこなければ参加したくてもできません。

・広報について、基本的にホームページに入らないと情報がありません。もっと近隣校や地域回覧などをもっと利用しても良いのではないかと思います。紙ベースも量が多いと予算の都合もあるかと思うので、地域のマーケットなどにご協力いただき掲示で案内すれば、色んな方の目に留まるので良いと思います。

(事務局回答)

ご意見を参考にさせていただき、各地域に最も効果的な周知の手法を採用しながら広報に力を入れてまいります。

・感染拡大防止に重点を置いた事業計画となっていて、評価できると思います。

職員の研修計画は、前年度を踏襲する形となっており、理解はできるが、もう少しユニークな企画も考えてほしいと思います。

(事務局回答)

研修計画を立てる段階で情報収集をしながら、多様な意見を取り入れてまいります。

・各児童館とても頑張っていると思います。職員の方たちも地域の方たちと共に子育てを応援してくださって感謝しかありません。皆さんの努力あっての子育てだと思います。これからもよろしくお願いします。

・令和3年度実績で参加希望者が多かったプログラムを再度取り入れるなどといったことが必ずしも行われていないようです。利用者のニーズや時代にあったプログラムの導入など検討の余地があるのではないかと思います。アンケートの結果が、より活用されると良いと思います。

・職員研修や情報交換は積極的に行ってほしいです。

意見照会事項

その他、全般的にご意見がありましたら、ご記入くださいますようお願いいたします。

その他のご意見

・小学生高学年から中学生にかけての思春期の子どもたちの居場所の充実も今後考えていく機会がありましたら幸いです。

・書面会議の資料について、ペーパーレス(メール添付)で行うことは難しいのでしょうか。資源削減という意味合いもありますが、A4 サイズにプリントアウトされた資料の場合、文字のポイントが小さく、非常に読み難くなっています。

(事務局回答)

会議資料のメール添付による送付につきましては、今後、希望される方へ送付します。

・熊本市児童館利用者アンケート報告書について、このアンケート結果が「何にどのように反映されたか」というところまでの報告があればアンケートの意味が出てくるのではないのでしょうか。

(事務局回答)

利用者アンケート報告書につきましては、アンケート結果に加え、前回の利用者アンケート結果の活用状況を報告することとします。

・新型コロナウイルス感染拡大の現状の中、今年も熊本市児童館運営審議会が書面決議になりました。しかしながら、コロナと経済を上手く生活様式に取り入れて行かなければならない社会情勢であります。児童館は児童の心身の健やかな成長に関わる大切な事業であり重要な活動であります。審議会は児童館の運営方針や使用普及に関し、より良くなるよう審議する会と存じます。益々の活性化を期待します。

・アンケート報告書を見ると、小学生は児童館の在る校区内児童の利用が高いようです。6 学年の割合はほぼ同じで、交通機関は自動車(親の送迎)、自転車、徒歩となっています。低学年は親と一緒に多く、兄弟また高学年になると友人と一緒に来るケースが多いようです。夏休みなどに利用が多く、月に 2~3 回等々、詳細に調べてあります。

また、保護者のアンケートの中で思った事は、保育園や幼稚園に通っていない子どもの利用者が多い事です。年少未満のためか家庭内の事情もあると思うが、児童館の存在価値は高いと思われます。

・これからも、熊本市の子どもたちに思いをはせながら様々な団体が手を取り合っていけたらと思っています。少子化の影響がいたるところではありますが、互いに知恵と情熱をもって頑張ってまいりましょう。

・今年度は、指定管理児童館及び民間児童館運営状況について資料提供いただき感謝申し上げます。その内、桜ヶ丘児童館令和 3 年度事業報告書によれば、児童健全育成相談支援事業として、児童館が 18 歳未満のすべての子どもを対象にしていることを考慮し、中・高校生を含む年長児同等からの相談に応じ、学校等関係機関と連携を図り、個別または集団指導を定期的に行われております。

また、児童館への小・中・高校生の来館を促進するため、年長児童等来館促進事業として、活動支援が行われております。その尽力に対し敬意を表したいと思います。

・私が子どものころは児童館に地域の子どもたちが集まって宿題などをしていたと思いますが、今はそういった活動はなくなったのでしょうか。もしかしたら、私が住んでいた地域だけだったのかもしれませんが、もっと色んな方が利用してくれるようになったら良いと思います。

・「参考 2」の「児童館だより」は、それぞれの児童館の取り組みについての工夫や特色が見られ、毎回楽しみにしています。また、保護者へのアンケートで、「職員の接遇」がとても良いと感じた人が 80%もあったことはうれしい限りでした。

・アンケートでは、良い意見が多く、とても良いと思います。

・別冊資料指定管理民間児童館の状況を知ることができて良かった。

・施設概要一覧によると、昭和 50 年代に事業開始した児童館が多く、老朽化の懸念がある。耐震など構造的な点、外装の傷み、また清潔感があり明るい内装であるかなどについても説明をお願いします。補修や改装予定などはあるのでしょうか。

(事務局回答)

本市の施設管理につきましては、熊本市公共建築物長寿命化指針に沿って、改修等の計画が進められています。また、清潔感につきましては、職員による清掃を徹底して行っており、室内は職員が制作した季節の制作物で壁など飾りつけ、利用者を明るく迎えられる施設になるよう心がけています。

・昨年度、オンラインを活用したプログラム実施を提案したが、その点についてどのような検討を行われ、どのような状況なのか知りたい。

(事務局回答)

臨時休館中において、児童館行事についてはオンラインを活用したプログラムの実施はできていません。しかしながら、西部児童館において、母親クラブの事業において一部実施いたしました。

今後は、児童館行事についても、実施計画の段階から、オンライン活用を視野に検討してまいります。